

区分	予算額	決算額	差額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,505	3,503	2	(注1)
施設整備費補助金	606	648	42	(注2)
船舶建造費補助金				
補助金等収入	92	104	12	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	27	30	3	
自己収入	2,693	2,434	259	
授業料、入学料及び検定料収入	2,582	2,302	280	(注4)
附属病院収入				
財産処分収入				
雑収入	111	132	21	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	152	227	75	(注6)
引当金取崩				
長期借入金				
貸付回収金				
承継剰余金				
旧法人承継積立金				
目的積立金取崩		94	94	(注7)
計	7,075	7,040	35	
支出				
業務費	5,554	5,410	144	
教育研究経費	5,554	5,410	144	(注8)
診療経費				
一般管理費	644	669	25	(注9)
施設整備費	633	678	45	(注10)
船舶建造費				
補助金等	92	99	7	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	152	285	133	(注12)
貸付金				
長期借入金償還金				
国立大学財務・経営センター施設費納付金				
計	7,075	7,141	66	
収入 - 支出	0	101	101	

予算と決算の差異について

- 注1．運営費交付金については、年度計画作成時に誤計上してしまったため予算金額に比して決算金額が2百万円少額となっております。
- 2．施設整備費補助金については、前年度より繰り越して使用する計上額があったため、予算金額に比して決算額が42百万円多額となっております。
- 3．補助金等収入については、獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が12百万円多額となっております。
- 4．授業料、入学料及び検定料収入については、授業料前受制度を廃止したことにより、予算金額に比して決算金額が280百万円少額となっております。
- 5．雑収入については、受託研究等間接経費収入等の増収より、予算金額に比して決算金額が21百万円多額となっております。
- 6．奨学寄附金及び受託研究等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が75百万円多額となっております。
- 7．目的積立金取崩については、前年度より繰り越して使用する計上額があったため、予算金額に比して決算金額が94百万円多額となっております。
- 8．教育研究経費については、退職手当の執行残等により、予算金額に比して決算金額が144百万円少額となっております。
- 9．一般管理費については、大学広報の拡充等により、予算金額に比して決算金額が25百万円多額となっております。
- 10．(注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が45百万円多額となっております。
- 11．(注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が7百万円多額となっております。
- 12．(注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が133百万円多額となっております。